

ルネサンス

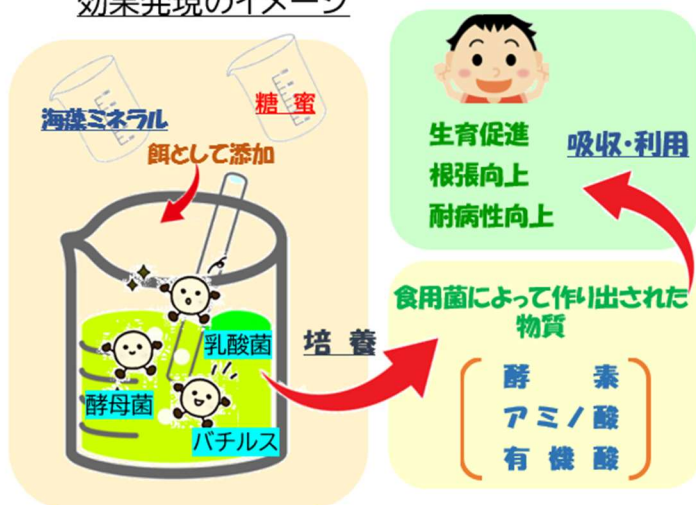
醗酵技術を応用した酵素入り資材

規格 2kg 10kg 20kg

醗酵技術である**食用菌(乳酸菌・酵母菌・バチルス)**をミネラル原料によって開発された新しいタイプの酵素入り資材です。

好気性菌と嫌気性菌の両方の力により、土壤の地力を高め、植物の生育促進に貢献します。

効果発現のイメージ

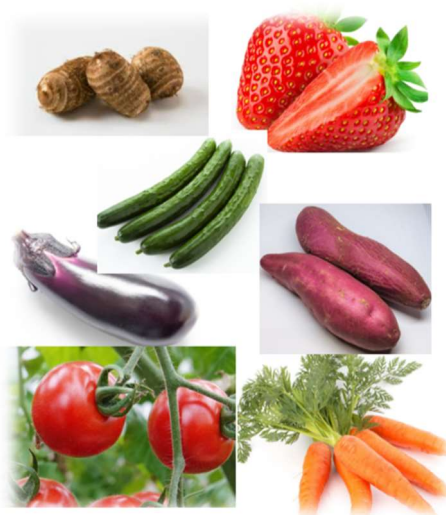


- ◆有効な食用菌・ミネラルによる作物の健全化
- ◆樹勢の維持・玉伸び促進・成り疲れの対策に
- ◆土壤微生物の活性化に
- ◆食味向上(糖度UP)・高品質栽培に
- ◆収量・収益の増収に

使用方法

育苗期	10日間隔で散布(1000倍液)
定植前	土壤に1Lを500~1000倍にして灌水(1L/10a入れることが重要です)
定植時	300倍液にドブ漬け後定植
定植~ 収穫まで	2回/月(約2週間ごと)500~1000倍を葉面散布 又は1~2kg/10a土壤灌注

種類	乳酸菌 【掃除・消毒屋】	酵母菌 【合成屋】	バチルス 【分解屋】
最適温度	30~45℃ 高温に強い	26~27℃ 高温に弱い	25~70℃ 高温に強い
活動pH	5.0~7.0	4.0~4.5	7.0~8.0
酸素要求性	嫌気性菌		好気性菌
備考	有機酸 (乳酸・酢酸など) ↓ ・強力な殺菌力 ・ミネラル類の キレート化 ・耐病性向上	アミノ酸・核酸・ ビタミン・酵素・ ミネラルの合成 ↓ ・根張り向上 ・生育促進 ・免疫力の向上	強力な分解酵素 ↓ ・有機物の分解 ・土壤の団粒化



使用上の注意

- ◆本品は酸性資材ですのでアルカリ性資材との混合はできるだけ避けてください
- ◆殺菌剤などの資材によっては併用することで菌の活性が落ちる場合があります。
- ◆ご使用の際は容器をよく振り、よく混ぜてからお使いください。
- ◆目に入った場合は直ぐに水で洗い流してください。
- ◆飲み物ではありません。
- ◆農薬と併用する場合、事前にテストしてから使用してください。

販売・製造元

川口肥料株式会社

TEL0537-72-2663

「ルネサンス」の4つのパワー

<バチルス>基礎代謝、光合成能力を高める

●特徴的な成分:ポリアミン

⇒ 光合成活性を高め、作物の老化をブロックし若返らせる。

病原菌抑制

バチルスの細胞内に含まれるポリアミン。細胞の生まれ変わりに必要な若返り物質で、古い細胞から新しい細胞に変わる際の情報伝達機能の役目をしています。ですからポリアミンが少なくなると、細胞分裂ができなくなり代謝機能が低下し老化が進みます。作物の収量を上げるには、いかに若く細胞を保ち維持するかが重要であり、ポリアミンによって基礎代謝が向上し、収量増加や、日持ちする作物になります。

<酵母菌>成長促進、病害虫への抵抗性誘導

・特徴的な成分:サイトカイニン(ホルモン様物質)

⇒ 細胞分裂の促進、側芽促進、着果促進、果実肥大、発根促進

生育促進

エチレン

⇒ 病害虫への抵抗性誘導、果実の熟期促進

酵母菌は細胞分裂促進物質であるサイトカイニンを作り出します。植物では主に根が張る際に先端で作られる物質であり、葉の気孔の開閉を盛んにして光合成を促し、生産力を高める働きもあります。収量増加や果実の肥大を行う重要な物質です。

エチレンは果実の熟期促進として、例えばバナナが緑色から黄色に変わる際に関与している物質です。リンゴも収穫して置いておくと、エチレンガスを発します。最近そんなエチレンが病害虫への抵抗性誘導に関わっていることがわかってきています。ルネサンスの酵母菌は、エチレンの前駆体物質であるメチオニンを生産し、光と反応してエチレンを生産します。

<乳酸菌>有害菌の抑制、肥料吸収の促進

・特徴的な成分:有機酸(乳酸、酢酸)

⇒ 抗菌作用、肥料吸収の促進

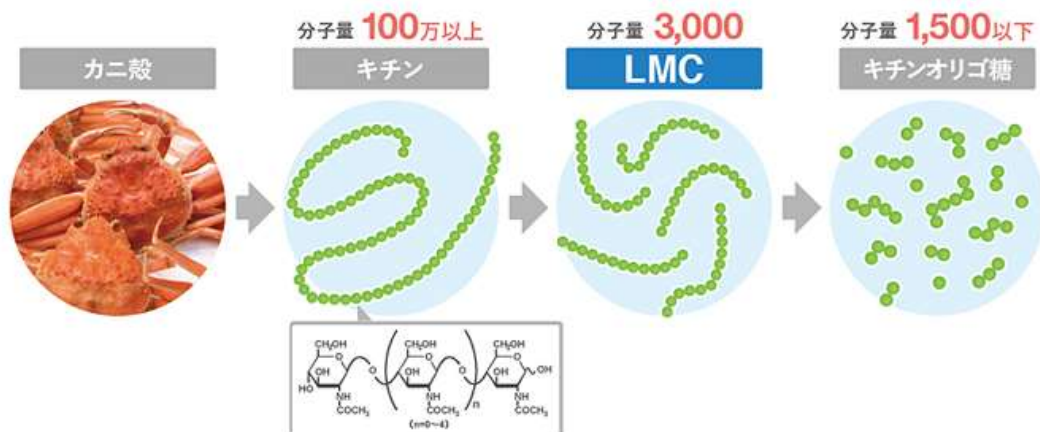
病原菌抑制

乳酸菌は発酵段階において有機酸(乳酸、酢酸)を生産します。乳酸菌で代表的なキムチは、長期に保存しても酸っぱくなるだけで、腐らないものです。これは、乳酸菌が生産する有機酸が他の腐敗菌の増殖を抑えています。「ルネサンス」をリンゴに散布することによって、病気にかかりにくい状態を作ります。また土壌に蓄積したミネラル(カルシウム・マグネシウム等)や肥料成分を吸収しやすくし、肥料吸収力を高め、生理障害を少なくします。

<LMC (低分子量キチン Low Molecular Chitin)>

病原菌抑制

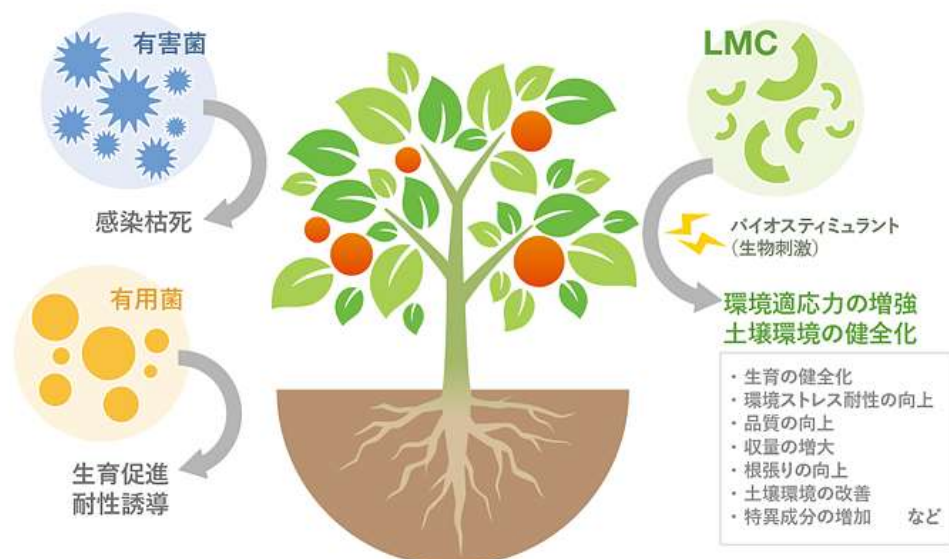
カニ殻は、古くから農業用資材として用いられており、植物の病害を抑えると言われていました。数多くの研究により、その効果はカニ殻を構成する食物繊維であるキチンと呼ばれる糖の長い鎖によるものと判明しています。しかし、カニ殻が環境中で効果を発揮できる形のキチンになるには、分解などに数年間という長い時間が必要でした。



植物は、昆虫や線虫、糸状菌などの害敵に襲われるとキチン分解酵素を作り、その酵素で昆虫の殻、線虫の皮膚、糸状菌の細胞壁などに含まれるキチンを分解します。植物は、その際に生じるキチンの断片を認識することにより害敵の存在を感知します。LMCはその断片と同じ構造を持つため、植物へ接触させると植物は害敵の襲来と誤認し、植物体内で生体防御に係わる反応が誘導されると考えられています。

そのため、LMCは植物体が本来もつ能力を引き出し、健全に生育するサポートをします。

LMCは、環境ストレスのダメージを緩和し、根張りや分けつを増やし植物の生長を促します。さらに、有用土壌微生物である放線菌の好意的な餌となることから、土壌中の放線菌を増やし土壌環境を改善する効果も期待できます。





使用作物実績例・お客様の声



病害虫減少
コストカット
収量アップ

スナップエンドウ

ルネサンスの週1回定期散布で固形の追肥が全く不要に！病害虫も格段に減り、王薬の散布回数も激減していて、肥料と農薬、さらには冬場の燃料のコストカットまで実現しました！花芽も増えて収量も1.5倍になり、良いことづくめです。



成長促進
病害激減
収量アップ

ネギ

育苗期から生育初期にかけての散布がとても効果的だった。根の量が多く、定職後の活着、その後の生育が順調。週一回のルネサンス散布でミネラルや糖の補給で生育が早く、生育期後半の萎凋症状が激減し収量がアップした。



品質向上
収量アップ
劣化防止

イチゴ

イチゴの高設栽培で、灌注にて10aあたり約1キロのルネサンスを2週間に1回程度施用。花数も多く、なり疲れ知らず！収穫の谷間も出来ず、収量がアップしました。品質が向上し、特に甘さがアップ！更に、品質の劣化防止にも貢献しました。



ピーマン

ルネサンスを使用し始めてから樹勢や花数が安定。週1回の散布で固形の追肥が不要になりました！



ミニトマト

ルネサンスを定職直後から定期的（週1）に株元へ土壌散布。数がとても多いが、なり疲れ知らずになりました。



ハクサイ

育苗期から散布。定植直後から定期的（2週間に1回）に散布。徒長せず、育ちストレス無し！生育後半収穫期近くに発生するハクサイ黄化病も激減で収量アップ！



バラ

ルネサンスを灌水したものは、新芽の動きも早く、今まで使ったどの活性剤よりも効果を実感！自然由来の成分というのも安心。

（（ その他実績のある作物 ））

ミズナ、スイカ、カブ、キュウリ、タマネギ
インゲンマメ、シュンギク、ハウレンソウ



使い方（使用前はラベルの注意事項もご確認ください）

500倍～1000倍で適宜散布

※土に与えるように散布してください。

葉にかかっても問題ありません。

※使用前に沈殿物を良く混ぜてご使用ください。

容量 (kg)

20, 10, 4, 2 (20kg,10kgはバロンボックス・コック付き)